実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	一般社団法人朝日ヶ丘スポーツクラブ
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	Amigo カップ
助成金額	1,460,000 円

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、「Amigo カップ」事業を実施している一般社団法人朝日ヶ丘スポーツクラブについて、実施状況調査を行いました。

本事業は、地域において試合出場機会が限られている児童期の子どもたちに、学年ごとの試合を通して経験を積んでもらい、技術やチームワークを育む機会を提供したいという思いから始まりました。地域のサッカークラブを対象として、主に千葉市内のグラウンドにて開催されており、調査当日は、千葉市立朝日ヶ丘小学校にて４チームが対戦しました。

■助成の意義

助成金を受け、メダルやトロフィーといった表彰用品を授与できるようになったことにより、選手たちが試合における成果をより実感でき、選手一人ひとりの競技意欲が向上した結果、チームとしても日々の練習や試合に対して前向きに取り組む姿勢が生まれたとのことです。

また、従来は参加料収入を主な財源としており、年間通しての運営スタッフの確保に苦慮していましたが、助成金を受けることで運営スタッフの費用に予算を充てることもできるようになり、これまで以上に安全面への配慮を徹底しつつ、事業全体を円滑に運営することができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

事業終了後に運営スタッフ間で意見交換の場を設け、参加者から寄せられた声や要望を汲み取ることで、開催回を重ねるごとに運営方法を見直すことができ、より円滑な事業運営に役立てられたそうです。さらに、参加者の能力差や年齢差を考慮し、団体独自のルール設定を取り入れることで、一人ひとりが競技の楽しさを実感できる試合構成となり、子どもたちが達成感や充実感を得られる環境づくりが実現したとのことです。

■所感

本事業は、年齢ごとにカテゴリーを分け、年度内に複数回開催されているため、多くの参加者に試合の機会を提供することができていました。会場では、保護者を中心とした観客が選手との距離が近い場所で観戦することができ、子どもたちの成長を間近で感じられる環境が整えられていました。本事業が、引き続き児童期の子どもたちにとって貴重な実践の場となり、児童期における試合出場機会の不足といった地域が抱えるスポーツ課題の解決や地域におけるスポーツ振興に大きく貢献していくことを期待します。

（令和 7 年 11 月 24 日往査）

（写真）Amigo カップの様子	
	